

2024年 8月 4日 《 誕 生 祝 福 式 》

主 日 礼 拝

①8時半 ②10時半 ③夜7時

司 会

②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱

②白川 達男兄

賛 美

聖歌255番「イエスのもとに」

～主イエスこそはわが隠れ家～

ヤベツの祈り

聖書朗読

使徒行伝12章1～5節

特別賛美

鈴木羊子姉（ピアノ独奏）

メッセージ

「教会の問題解決力」

石井 潤 牧師

献 金

聖歌571番「ここに主はまして」

賛 美

～主は御座におられる～

祝 禱

お知らせ

〔司会者〕

賛 美

～見よ、わたしは新しいことをする～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

☆本日も礼拝の恵みを感謝します！午後は聖書の学び会(千鶴子姉/ハブル13章)。

★今週の祈り会：①明朝6時：早天祈禱会。②木曜午前10時半～/夜7時半～：
祈禱会〔大和祈禱会ライブ参加〕。③土曜夜8時～：準備祈禱会。

☆来週の日曜礼拝では聖餐式(司会:白川兄/祈禱:石井洋子姉)。午後は執事会。

☆☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [8/4-/11] ☆

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	詩篇 40-45	46-53	54-60	61-67	68-71	72-77	78-80	81-87
チェック	○○○○ ○○	○○○○ ○○○○	○○○○ ○○○	○○○○ ○○○	○○○○	○○○ ○○○	○○○	○○○○ ○○○

「教会の問題解決力」

～牢獄で出会った神からのメッセージ～

「そのころ、ヘロデ王は教会のある者たちに圧迫の手をのびし、ヨハネの兄弟ヤコブをつるぎで切り殺した。そして、それがユダヤ人たちの意になつたのを見て、さらにペテロをも捕えにかかった。…。こうして、ペテロは獄に入れられていた。教会では、彼のために熱心な祈りが神にささげられた。」
使徒行伝12章1・2・5節

クリスチャンと牢屋は切っても切れない関係でもあります。使徒たちは何度も牢屋に入れられました。使徒行伝5章でも、公共の留置場に入れられたと書かれています。しかし、すぐに天使がやってきて牢獄の扉を開いて、「さあ、行きなさい。そして、宮の庭に立ち、この命の言葉を漏れなく、人々に語りなさい！」と語られて勇気づけられ、牢獄を出て、人々に福音を宣べ伝えました。この12章でのペテロはその時のことを明確に思い出したと思います。やがて、主の使いがやってきて、自分を助けてくれると。しかし、同じ使徒のヤコブはそのまま、剣で切り殺されてしまった。でも、どんな状況になったとしても、主イエス様の勝利は変わらない。ヤコブは痛苦しかっただろうが、今は、天国にいて、主の勝利を信じて祈り続けている。俺も頑張ろう。たとえ、どんな結果になったとしても、主の勝利は変わることがない。あの、十字架の上で、「すべては完了した！」と宣言して救いの完成を宣言されたあの主のお言葉は決して変わることはない。主のお体なる教会は決して敗北に終わることはない。たとえ、打ち伏せられても、決して、打ちめされることはない。何度、ノックダウンされたとしても、何回でも起き上がり、最後には相手をノックアウトさせることができると信じていました。

だからこそ、ペテロはそんな風に考えながら、いつの間にか主からの平安な眠りを与えられて、牢獄で、兵士たちに抱えられながらも、熟睡していたのです。

1578年、黒田官兵衛は、織田信長に背く、荒木村重を説得しようとして、出向きましたが、逆に捕らえられて、約一年間牢獄に入れられました。10月から10月までの一年間。しかもその牢獄は土牢であり、物凄く、劣悪な環境でした。そこでの時間の結果、彼は片足が効かなくなりました。しかし、彼のそこでの経験が彼に神への信仰をゆるぎないものにしたと言われています。彼はその土牢の中で、一つの植物によって大きな励ましを受け、「生きよ！」とこの状況から生きて望みをつなぐことをメッセージとして受け止めました。その植物、「藤」を以後、黒田家の家紋にしたほどでした。そんな劣悪な環境下にありながら、生きることを決してあきらめずに、見事な花を咲かせたその姿を見て、彼は、この牢獄という環境を通して、自分自身もやがて人生の花を咲かせることができるのだ！と神からのメッセージをもらったのです。

私たちもどうして？と思えるような、過去の失敗を攻め続けたいような牢獄や、理不尽とも言えるどうしようもない現実に対して手も足もでないことが起こります。しかし、神様はそこで私たちを決して終わらせません。必ず、私たちを立ち上がらせてくださると信じましょう！